

一般社団法人三重県溶接協会会員の皆様

一般社団法人三重県溶接協会  
会長 坂本 知 英



### 第43回三重県溶接技術競技会の開催について（案内）

三重県溶接技術競技会を下記の通り開催致します。競技要領を添付いたしますので、多数ご参加頂きますようご案内申し上げます。

#### 記

- 日時 令和6年2月18日（日） 8:30～13:00
- 会場 JFEエンジニアリング（株）津製作所 研修センター（津市雲出伊倉津町1234）
- 主催 一般社団法人三重県溶接協会（一般社団法人日本溶接協会指定機関）
- 後援 三重県、津市および一般社団法人日本溶接協会中部地区溶接技術検定委員会（予定）
- 趣旨 (1) 三重県内における溶接技術者の技術の錬磨をはかります。  
(2) 各業種間の溶接技術の交流をはかります。  
(3) 第69回全国溶接技術競技会四国地区高知大会の出場者を選考します。
- 種目 被覆アーク溶接（手溶接）の部と炭酸ガスアーク溶接（半自動溶接）の部の2種目とします。出場者は薄板（板厚4.5mm）および中板（板厚9.0mm）各1組を突合せ溶接します。
- 参加資格 三重県内の事業所などにおいて溶接作業に従事する方（研修生を含む）あるいは県内の各種教育訓練機関で、溶接技術を習得中の方とします。
- 募集人員 各種目25名程度とします。参加者が多い場合は調整をお願いすることがあります。  
近年、被覆アーク溶接種目の参加者が少ない傾向にあります。ふるってご参加ください。
- 参加申込  
(1) 参加申込書（別紙1）により受け付けます。締切りは令和6年1月15日（月曜日）とします。  
(2) 申込先 一般社団法人三重県溶接協会  
〒514-0302 津市雲出伊倉津町1187 JFE長浜ビル 1F  
Tel: (059)235-3185 Fax: (059)253-3186
- 10 参加費および振込先  
(1) 参加費  
選手：各部門、1種目1名につき 10,000円（昼食込）  
付添者：無料、ただし要昼食の場合 2,000円  
(2) 振込先  
百五銀行高茶屋支店  
口座番号：普通預金 722971  
口座名：シヤ、ミエケンヨウセツキヨウカイ

事務担当  
一般社団法人三重県溶接協会  
事務局長 中世古 圭基  
Tel 059-235-3185 Fax 059-253-3186  
E-mail: jwes-mie@proof.ocn.ne.jp

## 第43回三重県溶接技術競技会 競技要領

一般社団法人三重県溶接協会

### 1 競技課題および競技時間

- (1) 第68回全国溶接技術競技会の課題と同一とする。(別紙2)
- (2) 開先加工の時間は20分間とする。
- (3) 支給する競技材のベベル角度は、薄板：0°、中板：30°である。  
開先形状は薄板・中板共に任意とし、開先加工状態を確認しない。
- (4) 練習、電流調整、タック溶接、試験材・邪魔板の取付け(取外し)、本溶接と終了後の競技材の清掃、立会員の確認に要する時間を含め、競技時間は45分間とする。
- (5) 競技課題について

- 1) 薄板は立向姿勢上進とし、中央部に邪魔板を設置する。
- 2) 中板は横向姿勢とし、競技材中央部から40mmずれた位置に邪魔板を設置して初層のアー  
ク中断を必須とする。初層のアーク中断部から裏曲げ試験片を採取する。

40mmのずらし方向は左右のいずれでも可とする。さらに、溶接方向は左進、右進のいずれでも可とする。裏曲げ試験片の採取位置を溶接始端側とするか、溶接終端側にするかは邪魔板の取付け位置で決まり、各選手の選択になる。

### 2 競技材と邪魔板

- (1) 競技材と邪魔板および電流調整用鋼板は主催者が準備する。
- (2) 薄板競技材の材質はSS400、中板競技材の材質はSM400Aとする。

### 3 溶接棒及び溶接ワイヤ

#### a. 被覆アーク溶接

溶接棒は各自持参すること。JIS Z 3211：2008『軟鋼, 高張力鋼及び低温用被覆アーク溶接棒』に適合するもので、棒径は3.2mmおよび4.0mmとし、銘柄及び棒径・棒長の選択は自由とする。

#### b. 炭酸ガスアーク溶接

溶接ワイヤは各自持参すること。JIS Z 3312：2009『軟鋼, 高張力鋼及び低温鋼用のマグ溶接およびミグ溶接ソリッドワイヤ』のうち、YGW11～14および18に適合するもので、ワイヤ径は1.2mmとする。なお、シールドガスは炭酸ガス(CO<sub>2</sub>)で、主催者が準備する。

### 4 溶接機

#### a. 被覆アーク溶接機

500Aパナソニック溶接システム(株)製(形式; YK300AG4・電撃防止機付)

#### b. 炭酸ガスアーク溶接機

350Aパナソニック溶接システム(株)製(形式; KR II 350)

## 5 競技進行のあらまし

- (1) 申込者の確定後に事務局が各種目の選手を割振り、通知する。
- (2) 8：30から開会式を実施し、9：00第1班の点呼を開始する。ただし状況に応じて開会式を中止する場合もある。
- (3) 選手2名に対して1名の立会員が競技の進行およびチェックにあたる。

## 6 審査

審査委員会において審査基準に基づき審査する。審査は一次審査（外観試験、X線透過試験（中板のみ））および二次審査（曲げ試験）によって行う。一次審査においてJ I S評価試験の外観検査の合格基準を満たさないものについては外観試験および二次審査を行わない。曲げ試験片は薄板競技材についてはスタート側から表曲げ試験片を、クレーター側から裏曲げ試験片を採取する。試験片の採取位置はJ I S評価試験に準ずる。中板競技材では初層アーク中断部から裏曲げ試験片を、他方から表曲げ試験片を採取する。

## 7 成績の発表と表彰

- (1) 発表  
令和6年4月中に決定し申込者に通知する。
- (2) 表彰  
表彰式については別途通知する。
- (3) 表彰者  
被覆アーク溶接の部、炭酸ガスアーク溶接の部とも、第1位（優勝）から第5位までに順位賞を授与する。優勝者には併せて「三重県知事賞」を授与する。新たに「優秀学生賞」を設ける。

## 8 全国溶接技術競技会への推薦

被覆アーク溶接の部、炭酸ガスアーク溶接の部の各部門の優勝者2名を第69回全国溶接技術競技会四国地区高知大会へ三重県代表として推薦する。

## 9 その他

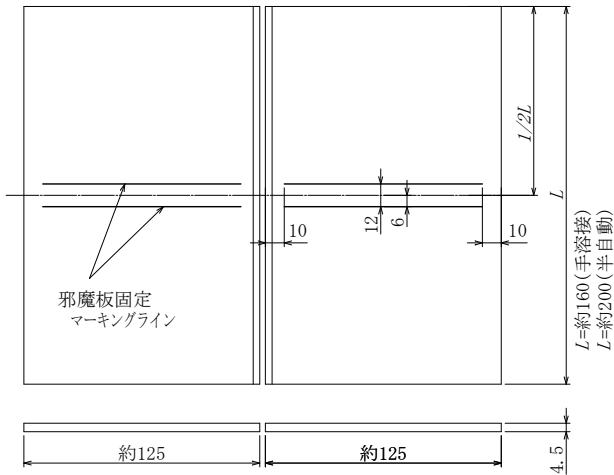
- (1) 参加者には募集締切り後に、競技の注意事項等を記した『参加要領』を送付する。
- (2) 第43回三重県溶接技術競技会についての問合せ先は以下とする。

一般社団法人三重県溶接協会事務局  
事務局長 中世古 圭基  
Tel : (059) 235-3185  
Fax : (059) 253-3186  
E-mail : jwes-mie@proof.ocn.ne.jp

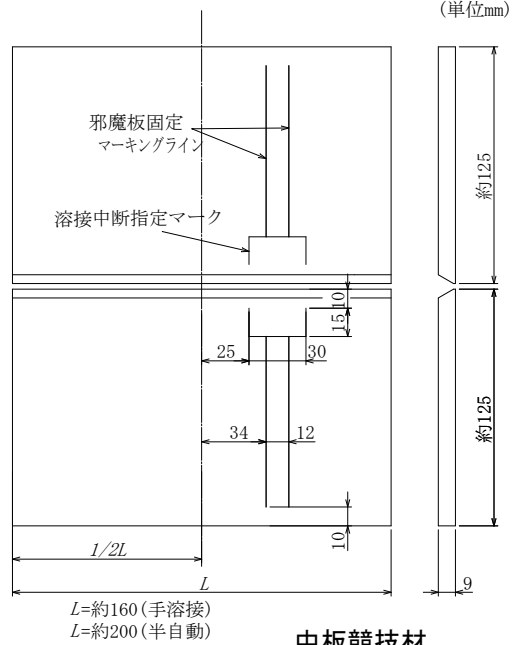


(別紙 2)

1 競技用材料

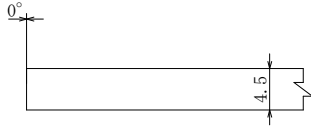


薄板競技材



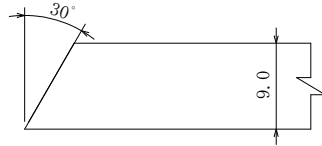
中板競技材

a) 競技材形状



開先：I形

薄板競技材



開先：ベベル角度30°

中板競技材

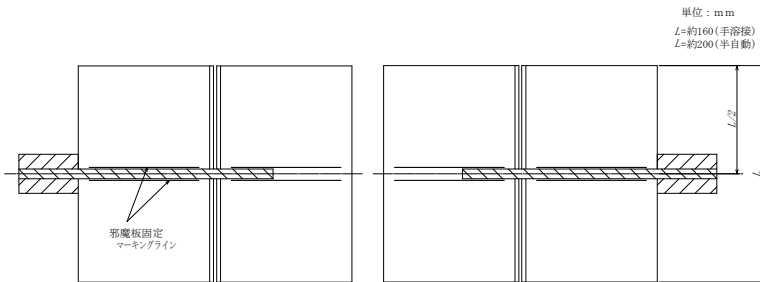
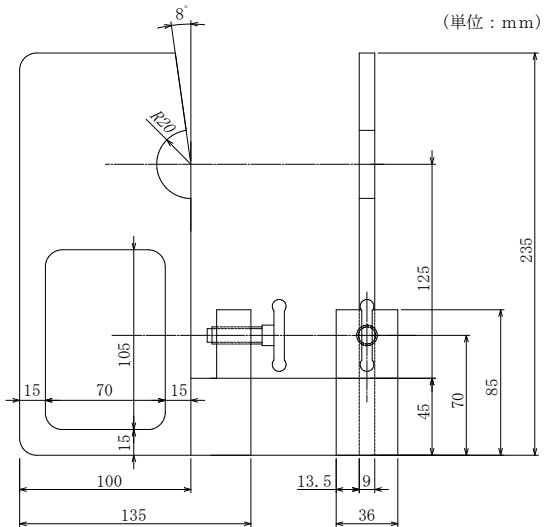
b) 配付時の開先形状

図1 競技用材料の形状および配布時の開先形状

2 邪魔板

邪魔板は1選手につき1個、主催者が準備する。薄板と中板で共通であり、順番に使用すること。邪魔板の形状を図2に示す。

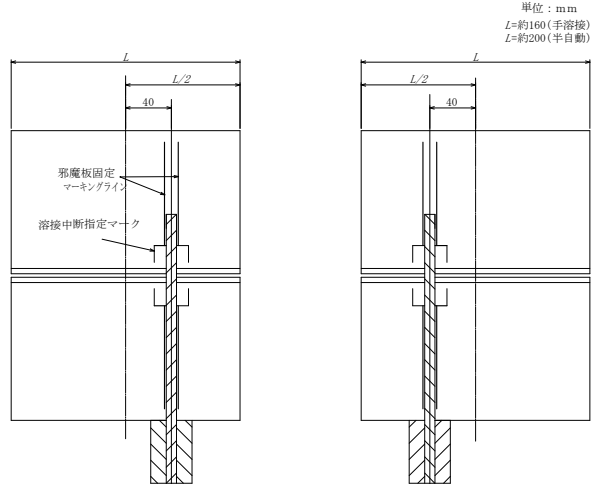
図2 邪魔板形状(薄板・中板共通)



a) 薄板競技材

注：邪魔板は左右のどちら側に取り付けてもよい。  
邪魔板はマーキングライン12mmの内側に取り付ける。

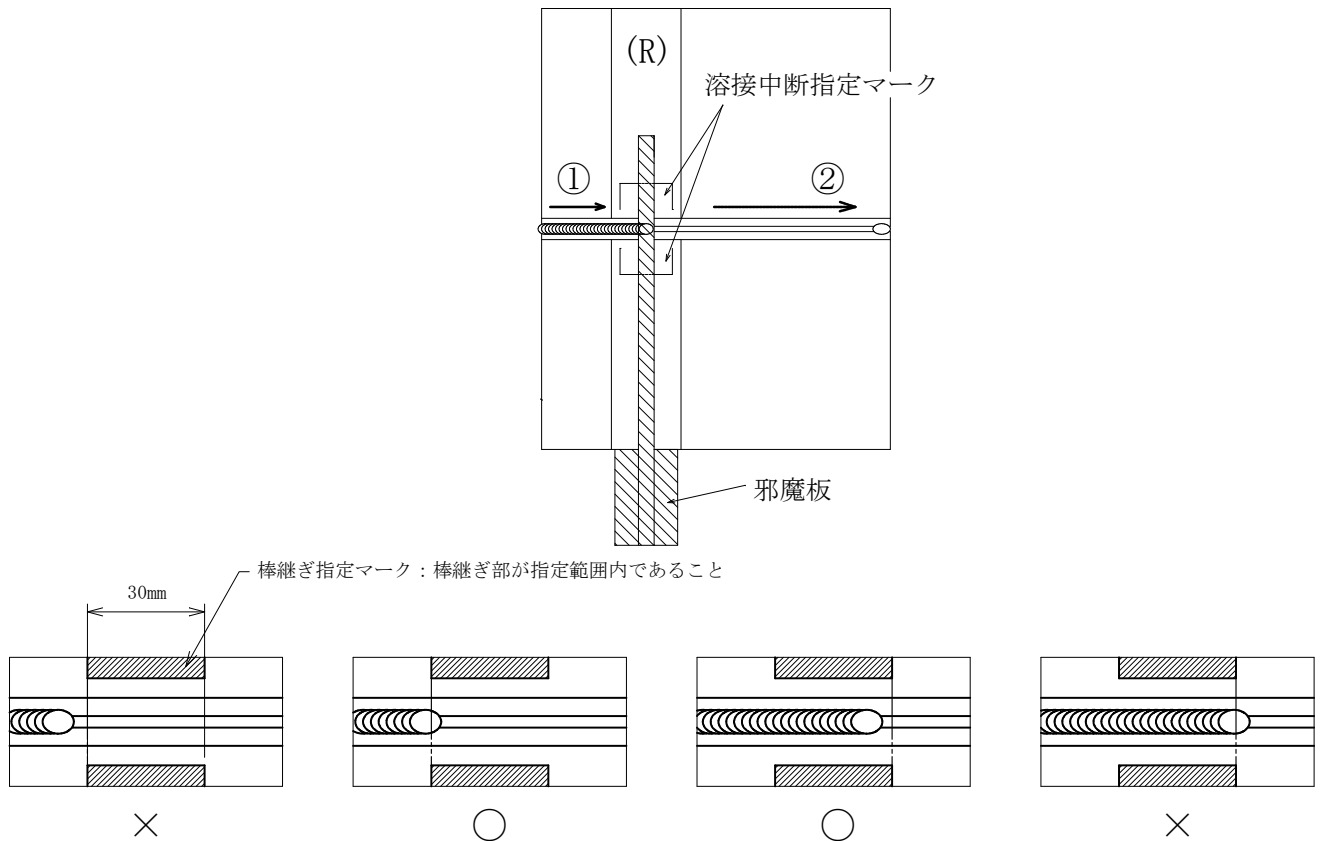
12mmの内側であれば斜めに取り付けることも許可する



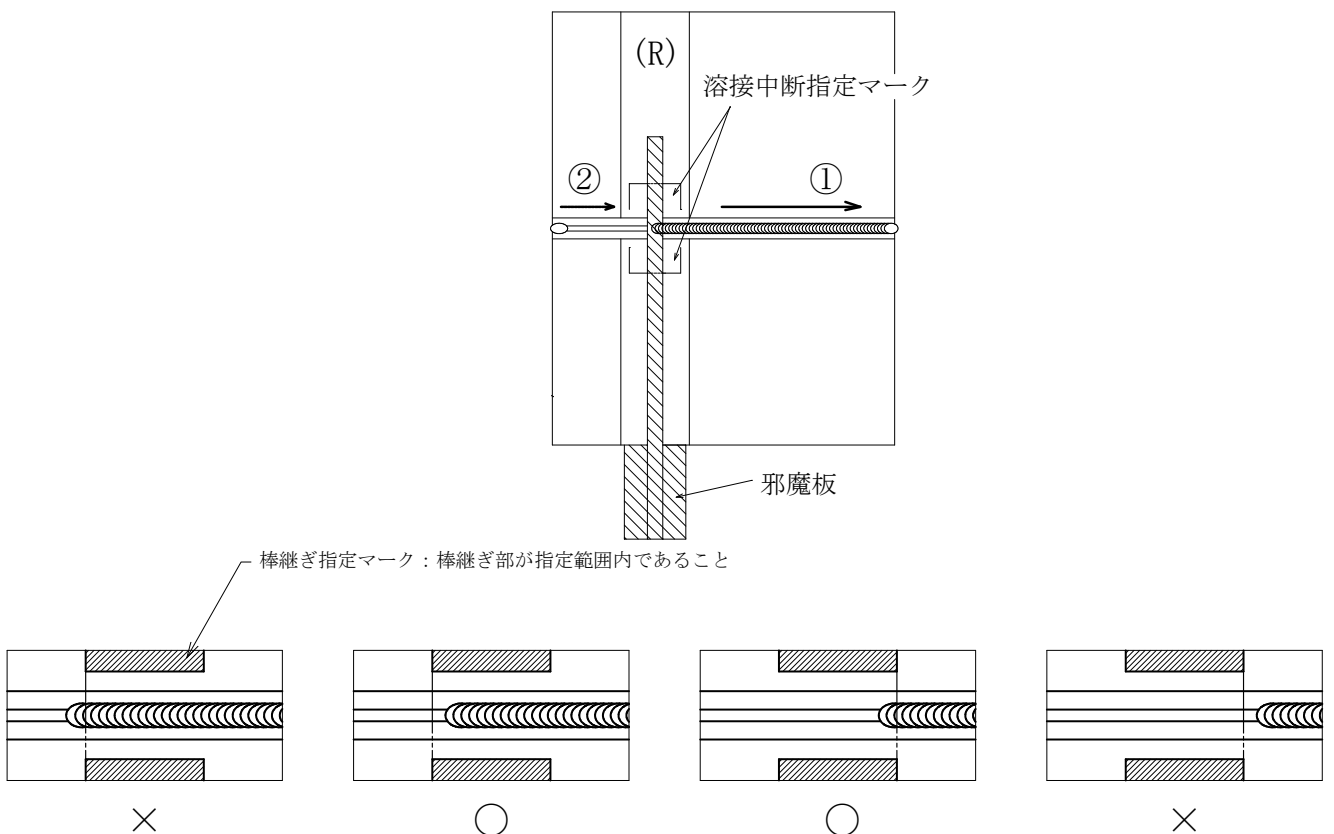
b) 中板競技材

注：邪魔板は左右のどちら側に取り付けてもよい。  
邪魔板はマーキングライン12mmの内側に取り付ける。

図3 邪魔板の取付け位置



a) 初層棒継ぎ指定位置 30mmでアークを切る場合



b) 初層棒継ぎ指定位置 30mmでアークスタートを行う場合

- (注記)
- ・ ①パス溶接終了から②パス溶接開始前までに棒継ぎの申告し確認を受ける。
  - ・ ②パスの溶接方向は①と同じとする。
  - ・ 初層完了後に残層(2層目)の溶接を行う。
  - ・ (R) 裏曲げ試験片採取位置(40mm)内に棒継ぎ指定範囲(30mm)を設定している。

図4 中板競技材の初層での溶接中断の例(右進で左側に邪魔板の場合)